



2023年 第16回世界代表司教会議総会へ シノドスの旅 —ともに歩む教会—



シノドスに関するバチカンの公式サイト (<http://www.synod.va/>)。5ヶ国語でシノドスに関する情報が発信されている。

第16回世界代表司教会議（シノドス）の通常総会が2023年10月に予定されている。今回のシノドスのテーマは「For a synodal Church: communion, participation and mission」（本紙仮訳「ともに歩む教会をめざして・交わり、参加、宣教」）。

このシノドス総会に向けて教皇は2年間の準備期間を設定し、全てのキリスト者が関わる道筋を提示している。シノドスとは？そして私たちはどのようにして歩むのか？教区長のヨゼフ・アベイヤ司教に聞く。

「道」です。「共に歩む」ということです。私たちの言っているシノドスは、全世界の司教代表者会議です。シノドスは基本、3年ごとに行われることになっています。各国の司教団の代表者（その国の司教数によっ

シノドスとは

2023年の10月にローマで第16回の通常シノドスが開かれる予定です。シノドスは、ギリシャ語にそのルーツがあります。「SYN」は「共に」、「ODOS」

日本カトリック平和旬間（8月6日～15日）

日本のカトリック教会は8月6日から15日までの10日間を「日本カトリック平和旬間」と定めています。今年は新型コロナウイルス感染症のために、全国的にも、また福岡教区内でも大きな集会はありませんが、ともに平和を祈り、平和を考え、平和について語り、平和のために行動する機会となりますように。

2021「日本カトリック平和旬間」賛同企画

平和を祈る集い

日時：8月9日（月・山の日）
第1部 講演会 13時～14時30分
第2部 平和祈願ミサ 15時～16時
場所：カテドラル大名町教会 2階大聖堂

オンラインで同時配信



※詳細は各小教区に配布されているポスター・チラシ、または教区HP（下記QRコード）をご覧ください。共に平和について考え、祈りましょう。



8・9月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう

- 【福音宣教】（8月）教会
- 【世界共通】（9月）環境に配慮した持続可能な生活
- 【日本の教会】（8月）平和の実現（9月）すべてのいのちの尊重

9月号は休刊です。

歩みを振り返り、教会の刷新を目指します。

2023年のシノドスは、今までのシノドスとは違うところがあります。教皇の意向を受けて、2年間の道のり（シノドスの旅）が企画されています。シノドスのテーマを通して、教皇フランシスコが目指している教会が示されています。「ともに歩む教会」をめざして、交わり、参加、宣教。そして、実際に「ともに歩む教会」ということを具体的に実行しようとしておられます。シノドスの歩みは各教区で始めることが決められたのです。

2023年のシノドスの場合は、何が違いますか？

2021年10月10日に、教皇はローマで「シノドスの旅」を開始されます。そして、その次の日曜日10月17日に、全世界の教区でシノドスに向かう各教区の歩みを始めるように決定されています。全世界の教会とのつながりを深く感じながら、各教区でミサをささげ、ともに2023年に向かって歩み始めます。

その後、来年の3月末までに、ローマから送られてくる指針に従って、各教区がシノドスに提案したいこと、問いかけたいこと等をまとめて、日本の司教団を通して、シノドスの準備委員会に送ることになります。それによってシノドスは、司教のものだけでなく、教会全体の集いになります。これこそ教会の

時の話題

平和について今思うこと

今、世界中を見渡した時、平和とは程遠い現状に胸が痛みます。無力な私にとって世界のことを考えると大き過ぎて、折ることぐらいしか出来ません。私ですが、今から16年程前に、松浦悟郎司教様（名古屋教区）の呼びかけから始まった「ピース9の会」があることを知り、入会させて頂き、久留米教会のメンバーの皆さんと活動を続けてきました。

メンパーと新聞の切り抜き等を持ち寄り、話し合う時間をもちながら、松浦司教様の平和講演、被爆者語り部の会、教会の皆さんと月に一度の分かち合い、バザー等、様々な活動をしてきました。考え方は色々あっていいし、賛否両論あっていいけれど、信仰の視点を持った人たちと一緒に平和のことを考えていきたいという思いからの活動でした。他の教会の方たちと交流する機会もあり、たくさん力を頂くことが出来ました。もしばらくはコロナ禍のため思う様に活動が出来ていませんが、日常生活の中で自分出来ることを見つけていきたいと思います。

先日、アベイヤ司教様のお話を聞く機会があり、「ミサでイエスのいのちを頂いた者は、社会に存在している不正・差別・排除・争い等を無視することが出来ないはずだ。ミサは私たちの目を世界に向けさせ、命を守り育むように私たちを世に派遣します」という言葉が心に残りました。ミサの大切さ、ご聖体の大切さを改めて感じる事が出来ました。これからミサに与る度にこの言葉を思い出し、平和の道具となれよう努力していきたいと思っています。

久留米教会 森 智子

私たちの福岡教区では

まず、10月17日にカテドラル大名町教会でシノドスの開始ミサを捧げます。各地区からの参加をいただきたいと思っています。全世界の教会と心を合わせて、シノドスの歩みを始めたいのです。ミサの前に、シノドスの意味と今回のシノドスのテーマと歩み方について説明が行われます。

私たちの教区では、「宣教司牧方針」を作っている最中です。多くの方々の意見をいただいて、現在草案を作成しているところです。2023年のシノドスのために教皇が求めておられるプロセスと同じものことです。

福岡教区として、シノドスへの提案は、現在行っている作業からピックアップしたいと思っています。これこそ、私たちは教会にとって大事な課題であると感じているからです。全世界の教会とともに、教皇の呼びかけに積極的に応えたいと思います。

久しぶりに穏やかな司祭評議会

7月20日、大名町教会にて2021年度第2回司祭評議会が行われた（今年度第1回はコロナ感染症で中止）。冒頭の挨拶でヨゼフ・アベイヤ司教は、「本日の議題はこれからの司祭の歩みとして大事なものである」と述べた。川上惣一神父の司会で始められた評議会の議題第1「最近の各地区の動き」、地区の中では、コロナ禍のために平日ミサや行事、司祭集会などが中止されていたところもあり、宣教司牧が試された時期だったとの感想が語られた。第2「委員会の報告」、青少年養成部から、「今後の教区全般の青少年の集まりや行事はオンラインなどを活用して、絆を強めていきたい」との報告があったのみ。第3「司祭不在の時の集会祭儀について」司祭がミサを行えない場合の信徒による集会祭儀の必要性がでてきている。地区司祭集会や地区宣教司牧評議会などで話し合っていくべきものである。第4「福岡教区」宣

いと思っています。先日、アベイヤ司教様のお話を聞く機会があり、「ミサでイエスのいのちを頂いた者は、社会に存在している不正・差別・排除・争い等を無視することが出来ないはずだ。ミサは私たちの目を世界に向けさせ、命を守り育むように私たちを世に派遣します」という言葉が心に残りました。ミサの大切さ、ご聖体の大切さを改めて感じる事が出来ました。これからミサに与る度にこの言葉を思い出し、平和の道具となれよう努力していきたいと思っています。



「せんせい、けむしがいるよ」「えっ、どこ？」。見てみると、黒い体の背中に一本の真っ赤な線を引き、毛が四方八方に出ている実にグロテスクな虫。「先生、花壇にもたくさんいますよ」との保護者の叫びに飛んでいった先生は、「これは害虫ではなく、成長して蝶々になるんです。ご安心ください」といって、捕まえて虫かごに入れた。子ども達は、虫かごの幼虫を毎日観察した。数日後、「せんせい、たくさんいたのに一匹きだけがうごいてるよ」と伝えに来た子ども。その数日後、「みんないなくなったよ」と言ったのに対し、先生は「かごのふたをよく見てごらん。何かぶらさがっているよ」と答える。「あつ、さなぎになっている」と驚いた様子の子ども。ある朝、「せんせい、オレンジいろしたちようちよになっているよ」と叫びながら子どもが教えに来てくれた。そう、毛虫扱いされた幼虫は立派できれいな羽を広げた蝶々になったのである。▼外見では分からない人は多い。言葉使いや様子は天使か聖人かと思わせても、内側に何がひそんでいるか知れない。たまに、「えっ、この人が？」と人を惑わせる言葉を耳にしたりする。イエスは法律学者やフアリサイ人の心を見抜き、「人の目には正しいように見えても、内側は偽善と不法でいっぱいだ」（マタイ23章参考）と言われた。容貌が美しかったソロモン王は神に、「富や栄誉ではなく、善悪を判断する知恵をください」と謙虚に願っている（列王記上3章参考）。主の教えに従い、外側と内側を整えながらまっすぐに生きていきたい。（S）

アベイヤ司教 教区内司牧訪問

1年をかけた、全ての小教区へ向うヨゼフ・アベイヤ司教の司牧訪問は、福岡県に再発出された緊急事態宣言で再び中断を余儀なくされたが、解除を受け訪問を再開した。今回は北九州地区2教会からの、待ちに待った喜びとめぐみのときの様子をお届けする。

黒崎教会



識別の大切さを語るアベイヤ司教

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言で黒崎教会へのアベイヤ司教の訪問予定が延期となっていたが、公開ミサが再開され7月11日(日)にアベイヤ司教が訪問した。現在、黒崎教会ではコロナ感染対策として主日のミサを2回行っており、更に第2日

今月、8月15日にカトリック教会は聖母マリアの被昇天を祝います。また、日本人にとってこの日は、特別の意味があります。76年前に日本の社会の平和への道が始まったのです。今、皆はその道を歩み続けて、次の世代に伝えようとしています。

現代、平和の問題を深く感じ、平和の賜物を熱烈に擁護するのは、言うまでも無く教皇フランシスコです。第54回の「世界平和の日」のメッセージで私たちに平和への道のりとして「ケアの文化」を提案しました。その「ケアの文化」とは、他人に対しての無関心を捨て、姉妹兄弟への愛を示し、特に弱い者に心をかけることです。そして、教皇は今年1月1日、神の母の祭日にあたり、アンジェラス(お告げ)の祈りの時に、コロナ感染のパンデミックに関連してこのように語りました。「…私たち一人ひとり、現代の男性と女性は、平和を実現するために呼ばれています。…これは神から与えられた仕事です。…平和は人生の中にあるもの。それは戦争が無いことだけではなく、個人的な生き方の充満と他の人との友愛的分かち合いによる豊かな生活です。…私の希望は、平和が人と家族の心に、職場やレジャーの場所で、コミュニティーや国家の中で君臨することです。…平和、平和」と。

【聖ヨセフと共に平和の道を歩む】

D・アルビン神父 (呼子・馬渡島教会)



この平和の希望は、聖ヨセフへの教皇フランシスコの眼差しにも影響したことでしょう。使徒的書簡『父の心で』の中で平和、「Shalom」(シャローム)の言葉を一回も使わなくても、聖ヨセフを「Shalom」の人として見ているところがあります。平和は単なる言葉だけでは表現されないのです。喜び、自由、完全性、和解、共同体、和合、正義、真理、コミュニケーションなども含めて、豊かな現実を表すのです。その全ては神と人との一致や人との間の一致から出るものです。この一致は、「Shalom」というお恵みであり、平和の本質です。これは私たちに与えられた聖ヨセフの人生、生き方から成り立っています。

今、世界の平和は、全人類の大きな課題ですが、より重要なことは平和の賜物を一人ひとりの心に、自分の家庭、環境、至る所に導き入れることです。これは私たちそれぞれの義務であり責任です。しかしながら、自分の力だけを当てにしませんように。被昇天された聖マリアの取次と聖ヨセフの導きを通して真の平和、主イエスの平和に達するものなのです(ヨハネ14章27節参考)。

驚いできたこの信仰を、私たち自身がみんなで真剣に考え、主イエス・キリストを中心とした教区活動、小教区としての活動を大事にし、信仰と祈りのタスキを繋いでいければと思った。司教は信徒からの質問にも丁寧に対応し、感謝と喜びのうちに公式訪問のミサと懇談会を終えた。

天神町教会 (報告)宮本精彦

7月18日(日)、アベイヤ司教は、北九州の天神町教会を訪問した。昨年2月より、新型コロナウイルスの感染予防のため、再三にわたり公開ミサが中止となったため、司教の天神町教会訪問もこの日まで延期となり、信徒一同喜びのうちにこの日の司教司牧訪問を迎えた。

この日は9時30分より、主任司教の川上惣一神父と共同司式によりミサが捧げられた。説教の中で司教は、マルコ福音書の中の、飼いのいない羊のような群衆を憐み、教え導かれたことを「善い牧者」の例で話した。



堅信の秘跡に与る富田さん

その後、中学2年生の富田あおいさんの堅信式があり、洗礼の約束の更新の後、按手と同時に「全能の神、イエス・キリストの父よ、この人の上に聖霊を送り、神を愛し敬う心をお与えください」と祈り、堅信の秘跡が授けられた。ミサ後の短い休憩の後、懇談会が開かれ、司教の自己紹介と、経歴の紹介があり、信徒からの質問に対しても、司教のユーモア溢れる受け答えで、和やかな懇談会となった。この度の司教の訪問は、コロナ禍で疲れ、沈みがちな私たちの心に、温かい励ましと喜びを残した。

(報告)横山忠

ミサを生き

共同体に仕える聖体奉仕者

福岡教区聖体奉仕者任命式 92人に任命書授与



聖体奉仕者の心構えを語る司教

福岡教区聖体奉仕者の任命式が、7月4日(日)、カテドラル大名町教会で行われた。今回の任命式は、昨年10月に任期満了を迎えたが新型コロナウイルス感染拡大のため任命の更新が行えずに延期されていたもの。任命されたのは92人、当日は54人が出席した。任命式に先立ち、アベイヤ司教が「信仰の神秘・ミサを生きる」と題して講話。聖体奉仕の源泉である感謝の祭儀(ミサ)の意味を確認し、よりふさわしく聖体奉仕の使命を果たしていくための心構えについて語った。

「弟子たちを愛し、この上なく愛し抜かれたイエスは、最後の晩さんの席で、弟子たちの前にひざまずきかれらの足を洗って、その愛を実践され模範を示された。そして、同じ席で、わたしたちのためにご自分を『渡し』与えつくす愛のしるし、いのちの糧として聖体を制定された。教会は、この時の『これをわたし』の記念として行え」というご命令を忠実に守って、その歩みの初めから、『週の初めの日、共に集って、みことばを聞きパンを裂き(ミサ)』、以来2000年にわたって連続したこの愛の神秘、死と復活の記念を祝い続けてきた。ミサは今も、そして『主が来られ

る日まで』人を生かし続ける。このミサにわたしたちはどのように参加したか奉仕し、その糧を受けて生活はどう変えられるか、そこから宣教に向けてどう踏み出しているだろうか。聖体奉仕者は、日々、生活とミサを深く結びつけ、兄弟姉妹に尊い賜物を授け、特に病人、高齢の方にイエスのいのちを届けて、共同体とのつながりを深め、共同体とともに作りあげていく。」



代表者の任命書授与を見守る出席者



2024年7月末までの3年、聖体奉仕者の多くがコロナ

禍にあつて奉仕の機会が減り、特に聖体のイエスを待ちわびている病人や高齢者を訪れることができず大きな痛みを味わっている。今回の任命更新の決意に合わせこの痛みを主にささげ、奉仕再開の時を待っている。奉仕者は現在高齢化もあつて数が少なくなっており、新しい奉仕者の誕生が待たれる。

(報告)大名町教会 深堀純

正式には「聖体授与の臨時の奉仕者」という。ミサや他の典礼祭儀の中で、聖体授与の通常の奉仕者である司祭や助祭が十分にいない場合、あるいは健康上の理由または高齢などのために聖体授与ができない場合、また拝領者が大勢で時間が長引く恐れのある場合などに聖体を授与する信徒のこと。また主任司祭の指導の下に、病人や高齢者などを訪問して聖体を授与する。福岡教区では、主任司祭の推薦を受け、一定の養成を経て司教から任命される。

「聖体奉仕者」の役割は、聖体授与を通じて、神の愛を伝えること。また主任司祭の指導の下に、病人や高齢者などを訪問して聖体を授与する。福岡教区では、主任司祭の推薦を受け、一定の養成を経て司教から任命される。

計報

アデレ・フルラン 修道女 (カノッサ修道女会)

2021年6月29日帰天。享年104。修道生活84年でした。

マリア・モニカ 遠山 フユノ 氏

遠山満神父(笹丘教会主任)のご母堂が7月8日帰天。享年92。

↑帰天された方々の永遠の安息と遺された共同体の兄弟姉妹、ご家族の上につくしみ深い主の慰めをお祈りいたします。

カトリック古賀教会 納骨堂のご案内

カトリック古賀教会内に3年前に建設された、比較的新しい納骨堂です。年に1度、主任司祭による慰霊祭も執り行われております。取得費用は、下記の通りとなります。1区画 ¥300,000(別途、管理料等がかかります)



詳しい資料、見学等のお問い合わせは、下記までお願いいたします。
カトリック古賀教会
住所：福岡県古賀市花見東2丁目23-1
電話：092-942-2171

広告掲載をご希望の方は 下記までお問い合わせください

福岡教区本部事務局 広報部
電話：092-522-4059
メール：cdf-kouhou@nifty.com

※この枠で1回(ひと月)5,000円の献金(目安)をお願いしております。
※内容によってはお断りさせていただく場合がございます。あらかじめご理解とご了承のほどをお願いいたします。

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

9月5日(日) 被造物を大切に...世界祈願日

宣教委員会・宣教企画推進部 山元 眞 神父 (小郡・鳥栖教会主任)



ラウダート・シ 宇宙の賛歌 (小郡教会ステンドグラス)

2015年の聖霊降臨の祭日に『ラウダート・シ』とともに暮らす家を大切に...という回勅を出しました(2016年8月にカトリック中央協議会)

人生の多感な時を過ごすこの時代。学業と信仰教育の結びつきについて、その様子や課題などを現場から月替わりでご寄稿いただく「ミッションスクールの今」。第3回目は福岡県久留米市にある久留米信愛中学・高等学校に話を伺った。

久留米信愛中学・高等学校 (福岡県久留米市)

久留米信愛中学校・高等学校は、「久留米に女子の高等教育を行うカトリックのミッションスクールを」という市からの要請を受けて1961年に設立されました。当初は「久留米信愛女学院」でしたが、2018年度からの共学化に伴い、校名を改めました。共学化は外に見える大きな変化でしたが、建学の精神が変わるわけでは... 変える必要のあるもの、変えてはいけないもの。立ち止まってこの見極めをすることは、わたしたちが大切にしたいものは何なのかをじっくり考えるよい機会となりました。

大切にしている伝統の一つに、「池のマリア様へのあいさつ」があります。校門を入ってすぐのところにある聖母像、通称「池のマリア様」。これは高等学校第二期生の卒業記念品であり、代々信愛生は登下校時、このマリア様の前で一礼するという習慣を大切にしてきました。新入生は入学式翌日に、まずこの伝統について聴き、その意味を理解し、自然なかたちで「礼」をするようになります。台座にはラテン語でヨハネ8章32節の言葉が刻まれています。「真理はあなたたちを自由にする」。宗教の時間まず初めに覚えるみ言葉は、自然とこの一節になります。「真理って何?」「自由ってどういうこと?」...そんなこと今まで考えたこともない!という表情でキョトンとする生徒、目を輝かせて考え始める生徒、教室全体に新鮮な風が吹き始める瞬間です。ここで生徒たちは、「毎日考えても答えが出ないかもしれない、でも考えることに深い意味がありそうな問い」に向き合う体験をします。

男女が共に学ぶようになって、宗教の時間に寄せられる新入生の初々しい質問の種類も広がりました。シスターの生活について紹介すると「ぼく、シスターになる!」と一人の男子生徒が冗談とは受け取れない嬉しそうに話しかけてきたことも。「...うーん、君は...神父様になったらどう?」「え? シンプって何ですか?」多くの生徒は、初めて聞くカトリック用語に興味津々です。

教員、生徒ともに信者数はほんのわずか、教壇に立つシスターたちも年々減り、今は一人となりましたが、カトリックの教えに基づく信愛教育を教職員は大切に、修道会のモットー「一つの心一つの魂」(使徒4:32)を共有し、「自己を他者に生かす」を合言葉に生徒指導に当たっています。朝礼で主の祈りを唱え、聖歌を歌い、終礼でアヴェ・マリアの祈りを唱え、毎時間授業の始まりには黙想のひとときを持ち、昼休みの終わりにはアヴェ・マリアの曲を聞きながら5分間の黙想で心を落ち着かせ、週1回の宗教の時間で普段考えないようなことを考える...そんな学院生活を通して、生徒たちの心の中に飼葉桶の御子の愛が刻み込まれ、今後の人生を照らす内なる光が灯っていくことを願う毎日です。(宗教科 Sr.小粥裕子)



池のマリア様に見守られて

9月26日(日) 世界難民移住移動者の日

社会福音化委員会・難民移住移動者部 谷口 尚志 神父 (水巻教会主任)

「世界難民移住移動者の日」。1970年に当時の教皇パウロ6世によって移住・移動者司牧評議会が設立されたことを受けて定められたこの祈願日は、日本の教会では毎年9月の第4日曜日と定められています。個人や各小教区などの枠を超えた全世界の人々と共生する決意を新たにすることとして呼びかけられているこの日に、もっと身近なことから受けてとめるように促され、祈りと献金をささげ

それを実行する力と勇気を願います。私たちが住む家「地球」のすべての被造物を守るために、具体的な何ができるかを探し、

「世界難民移住移動者の日」。1970年に当時の教皇パウロ6世によって移住・移動者司牧評議会が設立されたことを受けて定められたこの祈願日は、日本の教会では毎年9月の第4日曜日と定められています。個人や各小教区などの枠を超えた全世界の人々と共生する決意を新たにすることとして呼びかけられているこの日に、もっと身近なことから受けてとめるように促され、祈りと献金をささげ

技能実習生(1)

岩本光弘 (黒崎教会)

昨年春からベトナム人の青年たちに会う活動をしていました。各地に必要な情報が書いてある資料を配って話をします。問題が起きた時にどうするか、誰に相談するのかを教えるためです。私たちの会(外国人技能実習生権利ネットワーク・北九州)には各地から相談の連絡が入りますが、半数以上の問題は九州以外の各地の団体経由で知らされま...九州では誰に頼ったらよいのかを知らないからです。皆さんにお願いします。教会にきている外国人に関心を持ってください。イエス様の目や耳になってください。そして問題があったときは私たちに連絡してください。一緒に解決しましょう。

大村入管のこと

前田由樹 (大名町教会)

美野島司牧センターでは毎月大村入国管理センターを訪れ、収容されている方々と面会しています。難しい問題を抱える方ばかりで、初対面の時は何を話そうかと悩みながらとありあえず「こんにちは」と言います。なかなか話が弾みません。それでも時間を共有することで少しずつ打ち解けてお互い笑顔になります。別際には宗派を問わず祈りの時を持ち、司祭が同席の場合には祝福をいただきます。私たちは法律などの専門家はありませんが、外遇改善には真実できませんが、ひとときの笑顔のために訪問を続けます。



☆武器ではなく命の水をおくりたい 中村哲医師の生き方 宮田 律 著



2019年12月、アフガニスタンで凶弾に倒れた中村哲医師。35年にわたってパキスタンとアフガンで人道支援にあたった生涯をたどりながら、その生き方、考え方を伝える。 平凡社 発行 税込価格1540円

☆川があふれた! まちが沈んだ日...生きる力をくれたキジ馬くん チームキジ馬くん 編 古山 拓 絵



豪雨被害に遭った熊本を応援する絵本。 2020年7月人吉球磨豪雨災害。 氾濫した球磨川を愛し、共に生きていく決断をしていく人々のストーリーを1冊の絵本にして、今回の災害を子どもたちに引き継ぎたい。 パピルスあい発行 税込価格1540円

不動産全般/売買・賃貸・管理 なんでもお問い合わせください (株)ジャパン・スマイルか 代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子 〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号 TEL 092-761-8800 http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション 自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。 春日市天神山7-91 TEL&FAX 092-517-6313 福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業 一般住宅(新築・改築工事) 鉄骨工事 RC工事 建築の事なら何でもお気軽にご相談ください 有限会社 森山工務店 ヨゼフ 森山新太郎 福岡市早良区四箇1丁目15番28号 (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い セント・ポール FUKUOKA 聖母パウロクリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD 福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F 平日/AM10時30分~PM3時 日曜/AM11時~PM2時(定休日水曜・祝日) TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601 URL:http://www.pauline.or.jp

年間目標 **ともに歩み 支えあっていく共同体**

和田墓地開放日と追悼ミサ

8月の開放日 8月13日～15日、10時～15時
8月15日 追悼ミサ 中止
納骨式 13時～14時
※参列者は密にならないようにして参りを
お願いいたします。
納骨堂管理委員会 ☎080・2771・6544

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：祈りの実り：イエス様と共に、
イエス様のように生きること
日 時：9月9日(木) 10時～15時 (8月は休み)
内 容：「病氣や患いを癒された」イエスの模範
に従う(マタイ4:24)
指 導 者：S. フランコ神父(聖ザベリオ宣教会)
問合わせ先：真命山諸宗教対話センター
次 回：10月14日(木)
「福音を宣べ伝えた」イエスの模範に従
う(マタイ4:24)
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻蛉浦1391-7
E-mail shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

miniFYCC 開催のお知らせ

テーマ「**であい・さいかい・わかちあい**」
福岡教区中高生対象 **参加費無料!!**

内容：レクリエーション、講話、分かち合い、製作等
※参加は1回でも、途中からでも可
第1回 8月22日(日)(申込〆切 8月15日)
大名町教会 1階講堂 14時～15時
第2回 9月26日(日)(申込〆切 9月15日)
ZOOM(オンライン) 14時半～16時半
第3回 10月24日(日)(申込〆切 10月17日)
大楠教会・聖クララ幼稚園 14時～17時
※申し込みは右記QRコードから
QRコードが読めない場合
http://forms.gle/XbUcJx7Szwjy2dwGA
問い合わせ
catholic_fukuoka_chuukousei@yahoo.co.jp

—お詫びと訂正— 教区報7月号 4面 集い欄
× 聖アンナ聖ヨアキム記念日のミサ
○ 聖ヨアキム聖アンナ記念日のミサ
*「聖ヨアキムと聖アンナ会」はカトリックの教会暦で制定されている
「聖ヨアキムと聖アンナの記念日(7月26日)」に集う会です。

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

1419コース・マルセル神父
○路上からアパートに入居し
た方を訪問 第3土曜日14時
(問合せ先) ☎092・431・
1419
○ホームレスの方に手作りの
お昼ごはん 毎週火曜日10時
○ホームレス支援炊出し・夜
回り 第1・3金曜日 調理
14時 夜回り20時から
○路上からアパートに入居し
た方を訪問 第3土曜日14時
(問合せ先) ☎092・431・
1419

編集後記
スペースが…。酷暑の折、
皆様ご自愛ください。(w)

9月のこよみ

案内板

会合と催し

8月のこよみ

- 1日(水) すべてのいのちを守るための月間(10月4日まで)
- 2日(木) 常任司教委員会
- 5日(日) 年間第23主日 被造物を大切に作る世界祈願日
笹丘教会司牧訪問 †H.ハンター(2010年 大江教会)
- 6日(月) †D.ギル(2008年 手取教会)
- 7日(火) 福岡教区司祭集会
†フランシスコX.牧山重光(2005年 門司港教会)
†K.デバイン(2009年 人吉教会)
†フランシスコX.山田成章(2013年 茶山教会)
- 10日(金) †J.パーク(2000年 崎津教会)
- 11日(土) †ステファノ百村等(2017年 聖パウロ修道会)
- 12日(日) 年間第24主日 直方・田川教会司牧訪問
†A.セトアイン(2003年 泰星学園)
- 14日(火) 十字架称賛 厳律シトー会 荘厳誓願式(伊万里)
- 19日(日) 年間第25主日 戸畑教会司牧訪問
- 20日(月) 聖アンデレ金と同志殉教者
- 21日(火) 聖マタイ使徒福音記者
- 23日(木) 聖ピオ(ピエトレルチーナ)司祭
†J.パイヨ(2004年 光丘教会)
- 24日(金) †ヨゼフ深堀敏司教(2009年 高松教区長)
- 26日(日) 年間第26主日 世界難民移住移動者の日(献金)
- 27日(月) 聖ビンセンシオ・ア・パウロ司祭
- 28日(火) 聖トマス西と15殉教者
- 29日(水) 聖ミカエル・聖ガブリエル・聖ラファエル大天使
- 30日(木) 聖ヒエロニモ司祭教会博士
- 【10月】
1日(金) 聖テレジア(幼いイエスの)おとめ教会博士

- 1日(日) 年間第18主日 飯塚教会司牧訪問
- 5日(木) 平和祈願ミサ(広島)
†ペトロ平田三郎司教(2007年)
- 6日(金) 主の変容 日本カトリック平和旬間(～15日)
原爆とすべての戦争犠牲者のためのミサ(広島)
- 7日(土) †J.P.ラベル(2004年 大神学院)
- 8日(日) 年間第19主日 若松教会司牧訪問
- 9日(月) 平和を祈る集い(福岡地区信徒協主催)
長崎原爆犠牲者追悼ミサ
- 10日(火) 聖ラウレンチオ助祭殉教者
- 13日(金) †B.クレアリー(2005年)
- 15日(日) 聖母の被昇天 大名町教会英語ミサ
- 17日(火) 福岡教区幼児教育連盟 研修会
- 18日(水) †ミカエル堤要吉(2002年 浄水通教会)
- 20日(金) †D.グリフィン(2001年 玉名教会)
†L.デシャン(2001年 八王子教会)
†ユスティノ三村邦明(2012年 久留米教会)
- 22日(日) 年間第21主日 箱崎教会司牧訪問
- 24日(火) 聖バルトロマイ使徒
(宗教法人)幼稚園・認定こども園・保育園 理事会
- 25日(水) †フランシスコX.堤敏雄(2011年 飯塚教会)
- 27日(金) 福岡地区カトリック女性の会・モニカ祭
- 28日(土) 九州青年キャンプ(ZOOM)
- 29日(日) 年間第22主日
大名町教会堅信式
- 30日(月) †J.ガイヤール(2007年 水巻教会)

被造物を大切に作る世界祈願日 9月5日(日) 日本カトリック平和旬間 8月6日(金)～15日(日)
世界難民移住移動者の日(献金) 9月26日(日) ◇心を合わせて祈り、日々の歩みを振り返る機会といたしましょう◇

◆ **福岡**
※感染症の状況に
よっては開催が中止と
なる場合もあります。

■震災のための祈りのリレー
125ヶ月目(日時) 8月11
日(水) ミサ6時30分(場
所) 夕の祈り16時30分(場
所) 聖パウロ会福岡修道院(問
合せ先) ☎070・2820・
9613 Br.阿部(パウロ会
師イエス祈り会)

■福岡チエナクルム(マリ
アの司祭運動)(日時) 8
月18日(水) / 9月15日
(水) 10時から聖体賛美式
とロザリオ、分かち合い
〔場所〕大楠教会(指導)パウ
ロ神父(カプチン・フランシス
コ修道会)(問合せ先) ☎09
162・6395柴田

◆ **熊本**
■熊本地区召命を共に祈る会
(日時) 9月16日(木) 9時20
分(場所) 手取教会(内容)
召命を願ってロザリオ、ミサ
と話し合い(問合せ先) ☎0
96・339・1910武蔵ヶ
丘教会キム・ジョンゴン神父

「忘れない、沖縄」
福岡地区信徒使徒職協議会 宣教社会部
佐田 一兵 (大名町教会)

仕事の関係でよく沖縄に行きます。戦後76年、今年の慰霊の日(6月23日)は、市長会・町村会会長などだけと、昨年以上に参加者が制限された式典になりました。私も式典に合わせ12時に黙祷を捧げました。新聞によると「慰霊の日」を知らない方も多いようです。「沖縄戦！」それは本土決戦までの時間稼ぎのために「捨石」とされた沖縄の人々の“いのち”の犠牲そのものでした。日本で唯一地上戦が戦わされ“沖縄戦”に参戦した米兵も「あらゆる地獄を見た」と伝えています。日本軍の肉弾戦に怯え14,000人以上の米兵が精神異常をきたしたことからそのことが伺われます。沖縄には、その“沖縄戦”で亡くなられて現在も埋もれたままになっている遺骨が沢山あり、今、その遺骨が混じった土砂が辺野古新基地建設の埋め立てに使われようとしている事が大きな社会問題になっています。ガマフヤー・具志堅隆松さんは「戦没者の尊厳を守らなければならない」とハンガーストライキをも実施して反対活動を続けてこられ、その活動は沖縄社会では大きなムーブメントになっていて、本土の人々の良心にも訴えています。遺族の方々の心を傷つける人道の問題は、平和を求める「ウチナンチュのこころ」を燃え上がらせていると言っても過言ではないようです。



海軍戦没者慰霊塔 (旧海軍司令部壕)
大田実少将は自決直前にこの地から次のように打電した。
「沖縄県民斯克戦ヘリ 県民ニ対シ 後世特別ノ御高配ヲ 賜ランコトヲ」

大航海時代、琉球に着いたポルトガル人は琉球人のことを「レキオス」と呼び「友好的で武器を持たず平和を愛する人たち」と伝えています。沖縄戦の鉄血勤皇隊の生き残りでもある大田昌秀・元沖縄県知事は、『ウチナンチュのこころ』として戦争の加担者になることを沖縄の人々は望まない」と訴え、またその戦争経験から、戦後遺言的な言葉を言い続けて来ました。それは「軍隊は人を守らない」。日本カトリック平和旬間にあたり、大田昌秀さんの言葉を静かに黙想したいと思います。

人と人の絆を大切に、ご葬儀のご相談は
メモリーホール
業院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚
市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店 **福岡メモリーホール**
0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115
聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306
信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
と一緒に働いてみませんか
URL: http://www.st-mary-med.or.jp/

福岡教区セクハラ対応窓口
セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談
ください。ひとりで悩まず、早めに相談
セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話 080-2694-4182
受付時間 月～金(祝日を除く)
10:00～12:00 13:00～16:00

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!
http://www.paulus.jp
パウルスショップ
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930